

公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館

平成28年度事業報告

1. 公益目的事業の状況

(1) 入園者数について

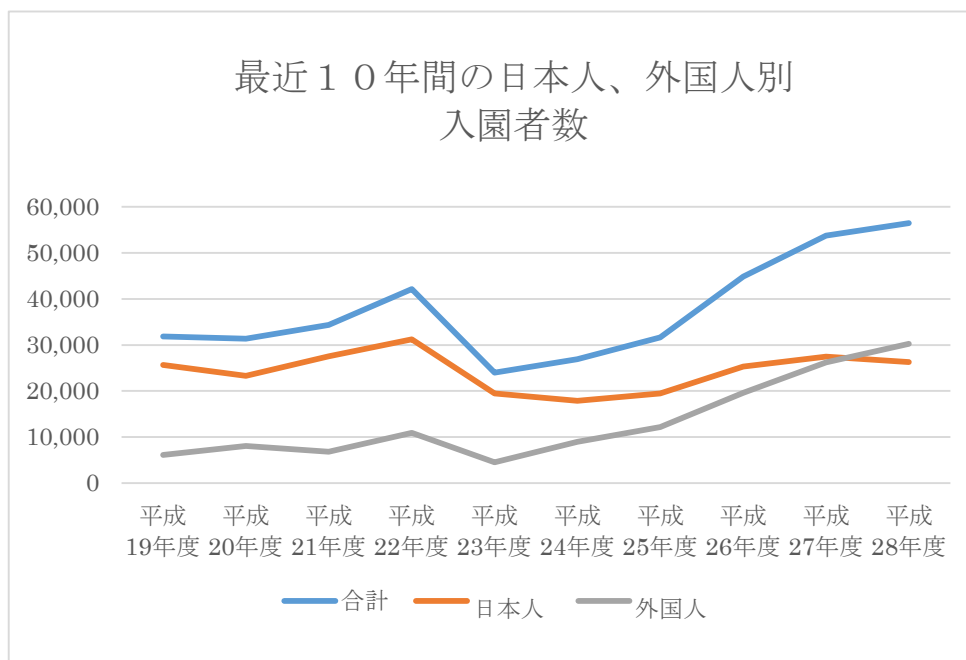
庭園事業および美術館事業の最近3年間の入園者数および入園料売上は以下の表の通りである。また最近10年間の日本人、外国人別年間入園者数は図の通りである。

最近3年間の入園者数と入園料売上

		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	対前年度 比
入園者数(人)	一般 (@650,900)	38,944	43,769	46,314	106 %
	大学生 (@650,810)		2,826	2,479	88 %
	中・高生 (@400,500)	1,379	1,938	2,171	112 %
	小学生 (@250,300)	629	821	925	113 %
	特別 (@400,500)	965	1,232	1,146	93 %
	団体 (@600,810)	2,937	3,137	3,460	110 %
	合計	44,884	53,723	56,495	105 %
	外国人 (内数)	19,589	26,239	30,232	115 %
入園料売上 (円)	33,084,425	45,331,050	47,658,550	105 %	

料金は左が H26/9 まで、右が H26/10 以降

最近10年間の日本人、外国人別 入園者数



平成28年度の入園者数は、前年度比で105%と増加した。(上期は102%) そのうち外国人は前年度比115% (上期は116%) と、相変わらず大きな伸びを示している。ただし昨年度の前年度比134%の伸びと比べると伸びは鈍化した。しかし日本人は前年度比96%と平成24年度以降では初めて減少した。

その結果外国人の全入園者に占める割合が、今年度ついに半数を超え54%となった。上期のみでは、外国人が58%であったが、秋は日本人入園客の割合が多い(11月は65%)ので、年間では外国人の割合は、やや減少した。

入園料売り上げも入園者数に準じて105% (上期は103%) となった。

入園者数に対して政府の統計等と比較、検討した結果は以下の通りである。

日本政府観光局の訪日外客数

http://www.into.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

によると、平成28年度(4~3月)の外国人の観光客数は、平成27年度に対して116% (上期は118%) となっており、下表の通り依水園入園外国人数の115% (上期は116%) とほぼ一致している。

訪日外国人数と依水園入園外国人数との比較(人)

	H27年度	H28年度	H28/H27
訪日外国人数	21,358,974	24,823,325	116 %
依水園入園外国人数	26,239	30,232	115 %

日本政府観光局の訪日外客数他より

また、奈良県の観光客と依水園入園者との前年度比の比較については、観光庁の宿泊旅行統計調査

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

の、のべ宿泊者数推移表を参照した。

全国および奈良県での、全体、外国人、日本人の宿泊者数の、前年度比（H28年度のH27年度に対する比率）を調べ、依水園の入園者数のそれと比較すると、下表の通りとなる。

宿泊者数、依水園入園者数の前年度比(H28/H27、%)

	全体	外国人	日本人
全国	98	102	97
奈良県	96	104	95
依水園入園者数	105	115	96

観光庁の宿泊旅行統計調査他より

全国では、全体で98%、とやや減少のなか、外国人102%、日本人97%と、外国人が増加している。（訪日外国人ののび116%より低いのは、報道では、民泊、クルーズ船、深夜バス等が原因であろうといわれている。）

奈良県でも同様に、全体で96%と減少のなか、外国人104%、日本人95%と、外国人増、日本人減となっている。

依水園入園者の、前年度比は、全体で105%、外国人115%、日本人96%であり、これらはいずれも奈良県の数字を上回っている。

国や、奈良県等の観光行政が、今後この外国人増、日本人減の傾向に対してどう対処しようとしていくか、フォローしていく。

(2) 美術館の展示について

美術館は、以下の企画展および特別展示他を、実施した。

①企画展

- ・平成28年4月1日(金)～平成28年9月11日(日)

テーマ：「花よ鳥よ」—吉祥文に込めた思い—

特設コーナー 中国の印章「封泥と印譜」—印章蒐集から研究に至る過程—

- ・特別陳列

- ・平成28年4月1日(金)～4月14日(木)まで

重要文化財「亦復一楽帖」第6図「風雨夕掩門」

田能村竹田(たのむらちくでん)筆

- ・平成28年10月1日(土)から平成28年12月12日(月)

テーマ：奈良さらし 南都の名産ここにあり まぼろしの布を求めて

奈良県立民俗博物館、名勝依水園・寧楽美術館の2会場で開催。上記は寧楽美術館開催展のテーマ。主催館2館に加え、奈良県指定無形文化財「奈良晒の紡織技術」の認定団体である奈良晒保存会(株式会社岡井麻布商店、坂西麻布奉織所、株式会社中川政七商店)ならびにその技術伝承を担う月ヶ瀬奈良晒保存会が、「奈良さらし」展開催実行委員会として連携協力し開催する共催展として開催した。

また関連催しとして、寧楽美術館では、「奈良さらし」展開催実行委員会の主催で、以下の催しを行った。

『平成28年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業』補助事業として

1. ワークショップ「奈良さらし—伝統をうけつぐ—」10月8日

(株)岡井麻布商店 岡井孝憲氏 出席者29名

2. 特別講演会「奈良さらしと四大麻布」10月22日

近世麻布研究所所長 吉田真一郎氏 出席者53名

3. 実演と体験 「奈良県指定無形文化財 奈良晒の紡織技術」

11月19, 20日

坂西麻布奉織所、月ヶ瀬奈良晒保存会

出席者 それぞれ35名、28名合計63名

②依水園開園記念日特別展示

昨年同様の内容を以下の通り展示した。

日時：平成28年6月1日

場所：美術館の軒下外廊下

展示内容：依水園の歴史、関わってきた人たちの写真のパネル

③収蔵品の貸し出し

暫く当財団では、収蔵品の他館への貸出を行っていなかったが、「宋拓 晋唐

小楷帖」を大阪市立美術館で4月12日～5月22日に開催された特別展「王羲之から空海へ」に貸出した。また特別展の会場での、「晋唐小楷帖」複製本の販売を物販業者（雪江堂）に委託した。（販売数13冊）

④「晋唐小楷帖」複製本の販売

中国人を主な顧客とした美術品オークション（平成28年9月9日～11日、奈良ロイヤルホテルで開催、主催古美術おおたに）で併催された即売会にブースを借り、「晋唐小楷帖」複製本の販売を行った。（販売数0冊、コピー本が中国で安価に出回っているとの情報が聞かれた。）

⑤印章に関する書籍の発行の準備

当財団収蔵品の中国古印に関する書籍の発行を平成29年度に予定しておりその準備を進めている。

(3) 広報宣伝、営業企画活動等について

①開園記念日

6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年度も実施した。また今年度はこの日に当財団敷地内茶室の三秀亭で中谷美風流煎茶席を開き、煎茶を体験して頂くイベントを企画した。これは三秀亭が本来煎茶用の茶室であったことに基づくものである。

②プレスリリース

美術館企画展、依水園開園記念日に関してプレスリリースを実施した。

③リーフレット作成

美術館企画展に関してリーフレット（A4両面）を作成し市内観光案内所、ホテル等に配布を依頼した。

上記リーフレット配布先より、英語版の依水園紹介リーフレットの要求が多くあり、A4版のリーフレットとA2版のポスター（10枚）を作成し、市内観光案内所、ホテル、東大寺等に配布、掲示を依頼した。

④奈良県立高等学校への協力

奈良県立磯城野高等学校環境デザイン科（担当松下 征悟先生）で、造園を学ぶ高校生の郷土学習に協力した。具体的にはH27年度にスマホのAR（拡張現実）アプリ「マチアルキ」（東京書籍製）用のコンテンツ制作に場所を提供。今年度は、タグ読み取りでその場所の紹介情報が得られるスマホアプリ（「ココニワ」プロジェクト、タグ読み取り技術、東京工芸大学芸術学部三浦 剛助教担当）とそのコンテンツ制作に協力。

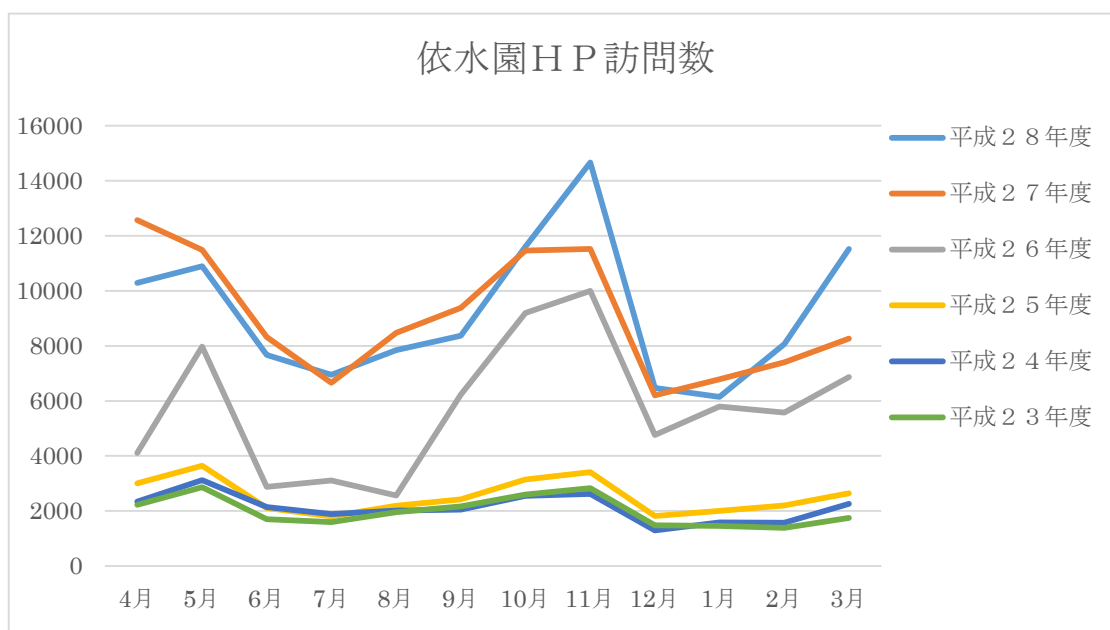
⑤東大寺の心礎、礎石調査への協力

東大寺から依水園内に現存する東大寺西塔心礎と礎石の調査への協力依頼があり、2月に対応した。3D映像撮影と拓本採取、計測等が行われた。

⑥ホームページ

平成26年10月に、英語対応、スマートフォン対応を目的としてホームページの改定を行って以降アクセス数は大幅に増加してきたが、今年度は、年間合計110,497件のアクセスがあり、前年度比102%と、ほぼ安定化した。6年間の月別訪問数は、以下のグラフの通りである。

ホームページの花だよりの更新は51回（前年度41回）、合計137枚（前年度128枚）の写真更新を行った。



⑦トリップアドバイザー (<https://www.tripadvisor.jp>)

昨年に引き続き、平成28年5月に世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」の「エクセレンス認証 2016(Certificate of Excellence)」を受賞した（星4つ半で昨年と同じ）。その証明書は、掲示板と受付に掲示している。

平成29年6月1日現在で、旅行客のコメントでの評価は、319件中、とても良い205、良い76、普通34、悪い6、とても悪い0、で平均4.5である。奈良の観光地での順位は、東大寺、奈良公園、奈良県猿沢ビジターセンター&イン、唐招提寺、春日大社、東大寺二月堂、に次ぐ7位。（奈良県猿沢ビジターセンター&インが突然3位に。）コメントの言語は英語181、日本語62、中国語（繁）33、中国語（簡）33、フランス語17、スペイン語15、イタリア語13、他25（ポルトガル語ロシア語等）で昨年度にくらべ、中国語（繁、簡とも）が増加した。

⑧「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデン」のランキング

平成28年12月発表の、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデン」の2016年の国内日本庭園ランキングで、依水園は7位となり、前年の8位よりひとつランクを上げ、引き続きベスト10入りした。

⑨その他

昨年に引き続き、珠光茶会 開催期間中の2月13日(月)から2月15日(水)まで、通常は非公開の清秀庵・氷心亭の茶室見学会を実施した(2,500円、解説および入園、入館、お抹茶お菓子付き)。

(4) 補助金事業について

平成15年度から実施されてきた、庭園整備事業の最終年度として、平成28年度の補助金事業(事業期間は平成28年6月～平成29年3月)(事業費2610万円(うち自己負担522万円))を、実施した。事業内容は、正門から受付までの通路の排水管の交換と、豪雨対応の排水路の改修、三秀亭入り口の松の補植、ならびに、名勝指定時には存在したが、その後撤去されていた母屋藤の間の前の藤棚の建設、および園路の修復、である。

補助金事業の終了に伴い、平成15年度から平成28年度までの14年間の補助事業に関して「名勝依水園修復整備事業報告書」を3月末に公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館として300部作成し、文化庁、奈良県、奈良市、大学、図書館、教育委員会等に配布した。

補助事業の事業費は総額3億6千万円、自己負担が約5千万円である。

なお平成29年度からは、平成27年度より10年間の予定で積立を開始した、庭園整備特別準備預金をもとに、財団独自で整備を実施することになる。上記預金は平成27年度は、500万円、平成28年度は、800万円をすでに積立済みであり、平成29年度から平成36年度までは、毎年1000万円、10年間で合計9300万円を積み立てる計画である。

(5) 文化活動について

①依水園文化講演会

・第16回 平成28年4月23日(土)「近代奈良のおん祭」

講師 幡鎌 一弘氏(天理大学おやさと研究所 研究員(教授))

を開催した。

②庭園大研究会

当財団主催の事業として12年目を迎えた、庭師育成の「庭園大研究会」は講師牧岡一生氏(庭舎 MAKIOKA 代表)の講義、実習とお茶の実習による月例の講習会を約20名の受講者を対象に継続開催中である。

(2) 収益事業の状況

収益事業のうち飲食事業の今期の売上は11,670千円であり、前期の11,951千円の98%であった。入園者が前年度比105%と増加したにもかかわらず、やや減少した。理由は日本人特に団体の減少で、抹茶の売上が343千円減少したことが考えられる。ソフトクリームを含む喫茶の売上増ではこの減少をカバーできなかった。

平成28年度の飲食事業の売上、費用、損益はそれぞれ以下の通りであった。

収益（含む寄付）	11,806千円	（前年度11,951千円）	前年度比	99%
費用	10,435千円	（前年度9,385千円）	前年度比	111%
損益	1,371千円	（前年度2,565千円）	前年度比	53%

また、不動産事業は、今期の収益が1,612千円であり、前期の3,728千円より減少している。これは、前館長の転居により、家賃収入が減少したことによる。

(3) 庶務事項

1. 組織・人員等

1) 主要事項

なし

2) 人員（平成29年3月31日 現在）

理事 6名（うち常勤1名）

監事 2名（非常勤）

評議員 6名（非常勤）

職員 17名

2. 役員会

1) 理事会

第1回理事会（平成28年5月26日 依水園会議室）

議題 ・平成27年度事業報告および決算報告

・評議員会の招集

第2回理事会（平成28年6月17日 依水園会議室）

議題 ・理事長の選出

・館長の選出

第3回理事会（平成29年2月20日 依水園会議室）

議題 ・平成29年度事業計画案および予算案

2) 評議員会

定時評議員会（平成28年6月16日 依水園会議室）

議題 ・平成27年度決算案承認

・評議員選任

・役員選任

以上